

Kmail CGI ver1.0

管理者マニュアル

目次

1 ご利用の前に	1
1-1 CGI 動作環境	1
1-2 CGI 動作概要	1
1-3 利用規定.....	2
1-4 シェアウェア料金について	2
1-5 ファイル一覧	3
2 サーバへのインストール	5
2-1 インストール概要.....	5
2-2 PERL パスの書き換え.....	5
2-3 サーバへアップロード	5
2-4 パーミッションの変更	6
2-5 管理者パスワード設定.....	7
2-6 システム診断.....	8
3 KMAIL CGI の設定	10
3-1 設定の種類	10
3-2 システム設定	11
3-3 アカウントデフォルト設定.....	12
3-4 アカウント管理	13
3-5 管理者パスワードの変更	15
3-6 ライセンス設定.....	16
4 CGI の仕様	18
4-1 ファイル構成	18
4-2 管理者パスワード.....	19
4-3 端末解像度／表示文字数定義	19

1 ご利用の前に

1-1 CGI 動作環境

Kmail CGI は、どのサーバでも動作するわけではありません。従って、お使いのホスティングサーバが次に示す CGI 動作環境を満たしているかをご確認下さい。尚、以下に示す動作環境を満たしている場合でも、動作を保障するものではございませんので、ご了承下さい。

【動作環境】

- サーバの OS が UNIX 系 OS であること。
- Perl 5.00503 以上がインストールされていること。
- Perl モジュール CGI.pm が利用できること。
- Perl モジュール Socket が利用できること。
- サーバから外部に対して POP3 で通信可能なこと。
- sendmail が利用できること。
- ImageMagick および Perl::Magick が利用できること(オプション)

オプションの ImageMagick および Perl::Magick は、サーバに実装されていなくても、CGI は動作可能です。ただ、これらが実装されていると次の機能が実現できます。

- メールに添付された各種画像フォーマットを JPEG に変換して表示
各携帯電話キャリアごとに表示可能な画像フォーマットが限られています。しかし、対応していない画像フォーマットのファイルがメールに添付されていても、JPEG に変換することにより、各携帯電話で閲覧可能となります。
- メールに添付された画像ファイルのサイズを携帯電話の表示幅にあわせて縮小表示
大きいサイズの画像ファイルが添付された場合、携帯電話の画面からはみ出してしまい、すべてを見ることができません。場合によっては、ファイルサイズが大きすぎて携帯電話で閲覧することができません。しかし、Kmail CGI では、携帯電話の表示幅を自動的に認識して、縮小表示することで、全体像を表示させます。

1-2 CGI 動作概要

Kmail CGI は、POP サーバにアクセスしてメールを受信する Web メールer の一種です。従って、POP サーバから見ると、Kmail CGI が設置されたサーバは、メールクライアントとなります。Kmail CGI は POP サーバから受信したメールを携帯電話で表示可能な HTML に変換して、携帯電話

に対して結果を出力します。その過程において、Kmail CGI はメールの内容をサーバ上に保存することはしません。ただし、ImageMaick および Perl::Magick がサーバにインストールされていれば、添付された画像データを各種携帯電話でも閲覧できるように画像フォーマットを JPEG に変換し、かつ携帯電話の画面にあわせてサイズを縮小しますが、その際に一時的にファイルを保存します。携帯電話に対して出力が終了した時点で削除されます。

他の Web メールソフトや Web メールサービス等では、新規にメールアカウントを発行して、そのメールボックスに受信する方式を取っているものがございますが、Kmail CGI は別途メールアカウントを用意する必要はございません。すでにご利用いただいているメールアドレスを使って、Kmail CGI が代行してメールを受信します。

メールを送信する場合には、外部 SMTP サーバに対して直接通信を行わず、ただ単にホスティングサーバに実装されてる sendmail を使ってメールを送信します。

1-3 利用規定

本 CGI のご利用にあたっては、futomi's CGI Café の CGI 利用規定をご覧ください、同意された上でご利用いただきますようお願いいたします。利用規定に同意いただけない場合には、本 CGI のご利用はご遠慮下さい。利用規定は、以下のアドレスにて公開しておりますので、ご覧ください。

<http://www.futomi.com/library/kitei.html>

1-4 シェアウェア料金について

本 CGI はシェアウェアです。まずは本 CGI を試用頂き、継続してご利用いただく場合には、シェアウェア料金をお支払い下さい。尚、試用期間は、本 CGI を設置してから 30 日間です。試用期間を過ぎると一切の機能をご利用いただけなくなりますので、ご注意下さい。シェアウェア料金のお支払いについては、下記ページにてご案内しておりますので、ご覧ください。

<http://www.futomi.com/library/kmail/index.html>




試用期間中は、登録できるアカウント数は 2 個までです。シェアウェア料金をお支払い頂きレジストいただきますと、ライセンスキーを発行いたします。本 CGI の「ライセンス設定」メニューにてライセンスキーを投入していただくことにより、ライセンスに応じたアカウント数を登録することができるようになります。尚、本 CGI の設置は、1 箇所限定いたします。複数のサーバ、もしくは同じサーバに複数設置する場合には、それぞれにライセンス料金が必要となります。

1-5 ファイル一覧

Kmail CGIは次のファイルから構成されます。あわせて、それぞれの役割を説明します。以下のディレクトリ構成は、サーバにアップロードする際には、変更しないように注意してください。

表 1-1

ファイル・ディレクトリ	役割
▼  kmail	Kmail CGI ディレクトリ
 admin.cgi	管理者用 CGI スクリプト本体
 kmail.cgi	メール送受信 CGI スクリプト本体
▼  conf	各種設定ファイル格納ディレクトリ
 char.cgi	端末解像度／表示文字数定義ファイル
 default.cgi	デフォルトユーザ設定定義ファイル
 signature.cgi	デフォルト署名定義ファイル
 sysconf.cgi	システム設定定義ファイル
▼  lib	各種 Perl ライブラリー格納ディレクトリ
 ezweb.pl	ezweb 用 Perl ライブラリー
 imode.pl	i-mode 用 Perl ライブラリー
 jcode.pl	日本語コード変換ライブラリー
 jsky.pl	JSKY 用 Perl ライブラリー
 MD5.pm	MD5 モジュール
 POP3Client.pm	POP3Client モジュール
▼  session	セッションデータ格納ディレクトリ
 delete_this.txt	ダミーファイル(削除しても構いません。)
▼  template	管理者用画面テンプレート格納ディレクトリ
 auth.html	
 default.html	
 logout.html	
 passchange.html	
 setpass.html	
 sysconf.html	
 top.html	
 usradd.html	
 usrdel.html	
 usrlst.html	

 usrmod.html	
▼  usr	ユーザ設定データ格納ディレクトリ
 delete_this.txt	ダミーファイル(削除しても構いません。)

2 サーバへのインストール

2-1 インストール概要

Kmail CGI のインストールは次の手順に従って下さい。

- Perl パスの書き換え
- サーバへアップロード
- パーミッションの変更
- 管理者パスワード設定
- システム診断

以下より、それぞれの手順について解説します。

2-2 Perl パスの書き換え

kmail.cgi と admin.cgi をテキストエディタで開いてください。1 行目に

```
#!/usr/bin/perl
```

と記述されておりますが、これをお使いのホスティングサーバにあわせて書き直してください。Perl パスについては、ホスティングサーバ運営者にお問い合わせ下さい。概ね、次のいずれかに該当するようです。

```
#!/usr/local/bin/perl
#!/usr/bin/perl
#!/bin/perl
```

2-3 サーバへアップロード

ディレクトリ kmail を CGI が動作する場所へそのままアップロードして下さい。ただし、FTP ソフトの転送モードを ASCII モード(テキストモード)にして転送して下さい。バイナリーモードで転送すると正しく動作しませんので、ご注意下さい。また、サーバへ転送する際に、ディレクトリ構成を変更することはしないで下さい。そのままサーバにアップロードして下さい。

2-4 パーミッションの変更










Kmail 一式をサーバにアップロードしたら、お使いのサーバにあわせてパーミッションを変更してください。CGI 動作権限が owner 権限か other 権限かで設定すべきパーミッションは違います。もしお使いのサーバで CGI がどの権限で実行されるか分からない場合には、futomi's CGI Café で配布しているサーバアナライザー (フリーソフト) をご利用下さい。

<http://www.futomi.com/library/servana.html>

概ね、次に示すパーミッションで動作しますので、ご参考にして下さい。

表 2-1

ファイル・ディレクトリ	owner 権限	other 権限
▼  kmail	変更不要	707 (rwx---rwx)
 admin.cgi	705 (rwx---r-x)	705 (rwx---r-x)
 kmail.cgi	705 (rwx---r-x)	705 (rwx---r-x)
▼  conf	変更不要	707 (rwx---rwx)
 char.cgi	変更不要	606 (rw----rw-)
 default.cgi	変更不要	606 (rw----rw-)
 signature.cgi	変更不要	606 (rw----rw-)
 sysconf.cgi	変更不要	606 (rw----rw-)
▼  lib	変更不要	707 (rwx---rwx)
 ezweb.pl	変更不要	604 (rw----r--)
 imode.pl	変更不要	604 (rw----r--)
 jcode.pl	変更不要	604 (rw----r--)
 jsky.pl	変更不要	604 (rw----r--)
 MD5.pm	変更不要	604 (rw----r--)
 POP3Client.pm	変更不要	604 (rw----r--)
▼  session	変更不要	707 (rwx---rwx)
	変更不要	変更不要
▼  template	変更不要	707 (rwx---rwx)
 auth.html	変更不要	604 (rw----r--)
 default.html	変更不要	604 (rw----r--)
 logout.html	変更不要	604 (rw----r--)
 passchange.html	変更不要	604 (rw----r--)

 setpass.html	変更不要	604 (rw----r--)
 sysconf.html	変更不要	604 (rw----r--)
 top.html	変更不要	604 (rw----r--)
 usradd.html	変更不要	604 (rw----r--)
 usrdel.html	変更不要	604 (rw----r--)
 usrlst.html	変更不要	604 (rw----r--)
 usrmod.html	変更不要	604 (rw----r--)
▼  usr	変更不要	707 (rwx---rwx)
	変更不要	変更不要

2-5 管理者パスワード設定

パーミッションの設定が完了したらサーバへの設置作業は終了です。ここからは、実際に正しくセットアップされていかなを確認します。まずは、ブラウザで管理者用 CGI スクリプト本体へアクセスして下さい。初めてアクセスすると、下図のように管理者用パスワードの設定を求められます。

■ 管理者用パスワード設定 ■

管理者用パスワードを指定してください。パスワードに指定できる文字は、半角の英数、ハイフン、アンダースコアです。この画面は、一度パスワードを設定したら出てきません。忘れないようご注意ください。

パスワード	<input style="width: 150px; height: 20px;" type="text"/>
再入力	<input style="width: 150px; height: 20px;" type="text"/>

図 2-1

管理者パスワードを2ヶ所に入力して「設定」ボタンを押して下さい。管理者パスワードは、半角英数字、半角ハイフン、半角アンダースコアを使って8文字以内で指定して下さい。それ以外の文字は登録できませんので、ご注意下さい。尚、ここで設定した管理者パスワードは決して忘れないようにして下さい。今後、Kmail CGI の設定を行う際には、このパスワードが必須となりますので、ご注意下さい。

管理者パスワードの設定が完了すると、下図の通り、Kmail CGI 管理者メニューログイン画面が表示されます。

図 2-2

先ほど設定した管理者用パスワードを入力して「認証」ボタンを押してください。認証が通ると、管理者メニュー画面が表示されます。

図 2-3

2-6 システム診断

管理者メニューが表示されたら、「システム診断」を選択して下さい。下図の画面が表示されますので、「システム診断」ボタンを押して、システム診断を実施して下さい。

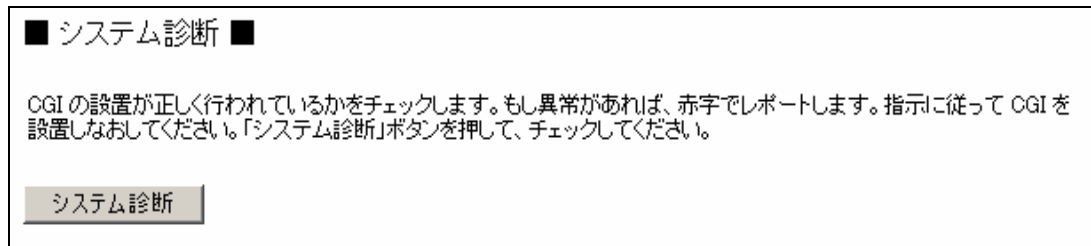


図 2-4

システム診断では、サーバ上に各ファイルが正しくセットアップされているを確認するものです。ご利用される前に、必ず実施してください。もし正しくセットアップされていないと診断された場合には、診断結果にその旨、表示されますので、指示に従って、再度、セットアップし直して下さい。

■ CGI の実行権限	: owner	:
■ CGI ファイル ./admin.cgi の改行コード	: LF	:
■ CGI ファイル ./admin.cgi の Perl パス	: #!/usr/local/bin/perl	:
■ CGI ファイル ./admin.cgi のパーミッション	: 704	:
■ CGI ファイル ./kmail.cgi の存在	:	: OK
■ CGI ファイル ./kmail.cgi の改行コード	: LF	: OK
■ CGI ファイル ./kmail.cgi の Perl パス設定	: #!/usr/local/bin/perl	: OK
■ CGI ファイル ./kmail.cgi のパーミッション	: 704	: OK
■ 設定ファイル格納ディレクトリ ./conf の存在	:	: OK
■ 設定ファイル格納ディレクトリ ./conf 内のファイル書込みチェック	: 755	: OK
■ 設定ファイル ./conf/char.cgi の存在	:	: OK
■ 設定ファイル ./conf/char.cgi の改行コード	: LF	: OK
■ 設定ファイル ./conf/default.cgi の存在	:	: OK
■ 設定ファイル ./conf/default.cgi の改行コード	: LF	: OK
■ 設定ファイル ./conf/default.cgi への書込みチェック	:	: OK
■ 設定ファイル ./conf/signature.cgi の存在	:	: OK
■ 設定ファイル ./conf/signature.cgi の改行コード	: 診断不可	:
■ 設定ファイル ./conf/signature.cgi への書込みチェック	:	: OK
■ 設定ファイル ./conf/sysconf.cgi の存在	:	: OK
■ 設定ファイル ./conf/sysconf.cgi の改行コード	: LF	: OK
■ 設定ファイル ./conf/sysconf.cgi への書込みチェック	:	: OK

図 2-5

以上で Kmail CGI のセットアップは完了です。次に、管理者メニューより、各種設定を行ってください。

3 Kmail CGI の設定

3-1 設定の種類

Kmail CGI には、各種設定項目があります。お使いのサーバ環境、利用シーンにあわせて設定して下さい。設定は、すべて管理者メニューから行います。大きく分けて次に示す設定があります。

➤ システム設定

Kmail CGI を動作させるにあたってのシステム的な設定を行います。本 CGI を設置したら最初に設定して下さい。運用が始まった後に変更すると正しく動作しなくなる可能性がありますので、設定内容にお間違いがないようご注意ください。

➤ アカウントデフォルト設定

Kmail CGI は複数のメールアドレスをご利用いただけるようになっています。それぞれのメールアドレスごとにアカウントを作成する必要がありますが、各アカウントを作成する際のデフォルトとなる設定値を定義します。ここで設定した値は、アカウントごとに変更することも可能です。

➤ アカウント管理

アカウントの追加・修正・削除を行います。また、個々のアカウントごとに詳細設定をすることができます。尚、ご購入頂いたライセンス数を超えてアカウントを追加することはできませんのでご注意ください。

➤ 管理者パスワードの変更

現在設定されている管理者パスワードを変更します。

➤ ライセンス設定

シェアウェア料金をお支払い頂き、通知されたライセンスキーを投入します。また、ライセンスされたアカウント数や、すでに登録されたアカウント数等、ライセンス状態を確認することができます。

以下、それぞれの設定について詳細を説明します。

3-2 システム設定

管理者メニューから「システム設定」を選択して下さい。下図の画面が表示されます。すべての項目に適切な値を入れていただき、「設定」ボタンを押して下さい。

■システム設定	
kmailcgi のファイル名	<input type="text" value="kmail.cgi"/>
sendmail のパス	<input type="text" value="/usr/sbin/sendmail"/>
ユーザーディレクトリ	<input type="text" value="/usr"/>
セッションタイムアウト	<input type="text" value="900"/> 秒
セッションファイルのお掃除の時間	<input type="text" value="1800"/> 秒
アクセスキー(パスワード)の長さ	<input type="text" value="4"/> 文字

図 3-1

➤ kmail.cgi のファイル名

もし kmail.cgi のファイル名を変更する場合は、その変更後のファイル名を入力します。ただ、この設定は、通常変更しないで下さい。

➤ sendmail のパス

お使いのホスティングサーバの sendmail のパスを設定して下さい。正しく設定されないと、メール送信ができませんので、ご注意ください。もし sendmail のパスが分からないようでしたら、お使いのサーバ運営者へご確認下さい。多くのホスティングサービスでは、概ね、次のいずれかであることが多いようです。

`/usr/sbin/sendmail`

`/usr/lib/sendmail`

➤ ユーザーディレクトリ

アカウントを新規に作成すると、ユーザディレクトリ内にユーザーごとのディレクトリおよび各種設定ファイルが自動的に生成されます。ここではユーザディレクトリの場所を設定します。ただし、通常は、デフォルトのままにして下さい。もし設定される場合には、kmail.cgi から見た相対パスで指定して下さい。また、最後にスラッシュは入れないで下さい。

デフォルト値: `./usr`

➤ セッションタイムアウト

kmail.cgi に携帯電話でアクセスし、ログオンすると、**kmail.cgi** はセッション管理を行います。しかし、ログオフをせず、そのまま終了してしまった場合には、セッションが残ってしまいます。そこで、最終アクセス時からのタイムアウト値を設定し、それを経過したら、そのセッションを無効にします。ここでは、そのタイムアウトの時間を定義します。単位は秒です。デフォルトでは、900 秒(15 分)です。

➤ セッションファイルのお掃除の時間

kmail.cgi に携帯電話でアクセスし、ログオンすると、**kmail.cgi** はセッション管理を行いますが、その際に、セッション管理ファイルを生成します。携帯電話側でログオフしないで終了してしまうと、セッション管理ファイルが残ってしまいます。そこで、**kmail.cgi** は、ある程度時間が経過したら、セッション管理ファイルを削除する仕組みになっています。ここでは、最終アクセス時刻から削除までの時間を設定します。単位は秒です。デフォルトでは 1800 秒(30 分)となっています。ただ、この設定は、前項のセッションタイムアウトより長くしてください。

ただ、**kmai.cgi** がセッション管理ファイルを削除するタイミングは、**kmail.cgi** でログオンアクションがあった時です。従って、正確に言うと、削除する時間ではなく、削除しても良い時間を定義していることとなります。

➤ アクセスキー(パスワード)の長さ

アカウントを新規に作成し、そのアカウントを使って **kmail.cgi** にアクセスすると、アクセスキーが求められます。ここでは、アクセスキーの長さを定義します。デフォルトは 4 です。運用中にこの設定を短くすると、それより長いアクセスキーを設定したアカウントは、ログオンできなくなりますので、ご注意ください。

3-3 アカウントデフォルト設定

管理者メニューから「アカウントデフォルト設定」を選択して下さい。下図の画面が表示されます。すべての項目に適切な値を入れていただき、「設定」ボタンを押してください。本設定は、新規アカウントを作成する際に適用される設定です。すでに作成されたアカウントの設定を変更するものではありませんので、ご注意ください。多数のアカウントを作成する予定がある場合、ここで各アカウントのデフォルトを定義することにより、その後のアカウント作成作業が楽になります。もし個別に設定するのであれば、この設定は行わなくても問題ありません。

■アカウントデフォルト設定

新規アカウントを作成する際に、デフォルトとなる設定を行います。

■ メール一覧表示	
* 一行の表示文字数	自動認識 <input type="button" value="▼"/> 文字(半角)
* 送信日時	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する
* 差出人	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する
* 表示メール数	5 個
■ メール本文表示	
* URL	<input checked="" type="checkbox"/> リンク表示にする
* メールアドレス	<input checked="" type="checkbox"/> リンク表示にする
* 電話番号	<input checked="" type="checkbox"/> リンク表示にする
* 圧縮機能	<input checked="" type="checkbox"/> 有効にする
* 表示文字数	1000 バイト
■ メール作成	
* 署名	<input type="text"/>

図 3-2

以上の設定項目については、ユーザーズマニュアルをご覧ください。

3-4 アカウント管理

Kmail CGI は、ひとつのメールアドレスを扱うためにひとつのアカウントを作成しなければいけません。アカウント管理では、アカウントの追加・削除・修正をします。管理者メニューよりアカウント管理を選択すると、登録アカウント一覧画面が表示されます。初めて Kmail CGI をご利用になる場合には、アカウントは一つも作成されておきませんので、下図の画面が表示されます。

■アカウント一覧				
【新規追加】				
アカウント名	氏名	メールアドレス	設定	削除
【新規追加】				

図 3-3

新たにアカウントを追加するには、「新規追加」をクリックしてください。「新規追加」をクリックするとアカウント新規追加画面が表示されます。

■アカウント新規追加	
新規アカウントを追加します。あわせて各種設定を行ってください。	
■アカウント情報	
* アカウント名	<input type="text"/>
* アクセスキー(パスワード)	<input type="text"/>
■メールアカウント	
* メールアドレス	<input type="text"/>
* 差出人名	<input type="text"/>
* POP3 サーバ	<input type="text"/>
* POP ユーザ名	<input type="text"/>
* POP パスワード	<input type="text"/>
* 認証方式	<input checked="" type="radio"/> 標準 <input type="radio"/> APOP
■メール一覧表示	
* 一行の表示文字数	自動認識 <input type="text"/> 文字(半角)
* 送信日時	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する
* 差出人	<input checked="" type="checkbox"/> 表示する
* 表示メール数	<input type="text" value="5"/> 個
■メール本文表示	
* URL	<input checked="" type="checkbox"/> リンク表示にする
* メールアドレス	<input checked="" type="checkbox"/> リンク表示にする
* 電話番号	<input checked="" type="checkbox"/> リンク表示にする
* 圧縮機能	<input checked="" type="checkbox"/> 有効にする
* 表示文字数	<input type="text" value="1000"/> バイト
■メール作成	
* 署名	<input type="text"/>
<input type="button" value="追加"/> <input type="button" value="元に戻す"/>	

図 3-4

アカウント新規登録では、アカウント情報欄のみが必須となります。その他の情報は、ここで登録してもかまいませんし、携帯電話で該当アカウントでログオンしてから「設定」メニューより設定することも可能です。

➤ アカウント名

半角英数字、半角ハイフン、半角アンダースコアを使って8文字以内で指定して下さい。その他の文字はご利用いただけませんので、ご注意ください。

➤ アクセスキー

アクセスキーは、パスワードに相当するものです。携帯電話を使って入力させることが前提ですので、半角数字のみで指定して下さい。最大桁数は、システム設定の「アクセスキーの長さ」で指定した文字数となります。

尚、試用期間中は、アカウントは2つまでしか登録できませんのでご了承下さい。シェアウェア料金をお支払い頂き、シリアルキーを本 CGI に登録されましたら、ライセンスに応じたアカウント数まで登録できるようになります。

その他の設定項目については、ユーザーズマニュアルをご覧ください。登録データを投入したら、画面下の「追加」ボタンを押してください。「設定しました」と表示され、「一覧画面に戻る」のリンクを選択して下さい。新規に登録したアカウントが表示されます。

■アカウント一覧				
【新規追加】				
アカウント名	氏名	メールアドレス	設定	削除
master	futomi's CGI Cafe	master@futomi.com	設定	削除
【新規追加】				

図 3-5

一度登録したアカウントの登録データを修正する場合には「設定」リンクを、削除する場合には「削除」リンクを選択して、画面に表示される指示に従って、操作してください。

3-5 管理者パスワードの変更

管理者メニューより「管理者パスワードの変更」を選択して下さい。パスワード変更画面が表示されます。

■管理者パスワード変更

管理者パスワードを変更します。現在のパスワードと、新しいパスワードを入力して「変更」ボタンを押してください。

* 現在の管理者パスワード	<input type="text"/>
* 新しいパスワード	<input type="text"/>
* 新しいパスワード(再入力)	<input type="text"/>

図 3-6

管理者パスワードを変更するには、現在の管理者パスワードを入力してから、新しい管理者パスワードを 2 回入力します。入力したら、「変更」ボタンを押してください。次回以降、新しい管理者パスワードでログオンすることができます。尚、管理者パスワードは、半角英数字、半角ハイフン、半角アンダースコアを使って、8 文字以内で指定して下さい。それ以外の文字では登録できませんので、ご注意下さい。

3-6 ライセンス設定

シェアウェア料金をお支払い頂くと、ライセンスキーをメールでお知らせいたします。ライセンスキーを登録すると、試用モードが解除され、継続してご利用頂けるようになります。尚、使用期限を過ぎると、一切の機能をご利用いただけなくなりますので、ご注意下さい。

管理者メニューよりライセンス設定を選択して下さい。「ライセンス情報」画面が表示されます。未登録の場合には、下図の画面が表示されます。

■ライセンス情報

■ ライセンス状態	未登録
■ ライセンスされたアカウント数	2
■ 現在登録されているアカウント数	2
■ 登録可能なアカウント数	0
■ 試用期限	あと 29 日と 23 時間

ライセンスキー - - -

図 3-7

ライセンスキーは、ハイフンで区切られた 4 つのパートに分かれます。それぞれをライセンスキー入力欄に入力して「OK」ボタンを押して下さい。これで登録が完了いたします。登録が完了し、同画面を表示させると、下図の画面が表示されますので、ご確認下さい。

■ライセンス情報	
■ ライセンス状態	登 録 済
■ ライセンスされたアカウント数	10
■ 現在登録されているアカウント数	2
■ 登録可能なアカウント数	8

図 3-8

4 CGI の仕様

本章では、管理者のみなさまに知っておいて頂きたい技術仕様を公開します。システム管理等のご参考にして下さい。

4-1 ファイル構成

Kmail CGI は、自動的にファイルやディレクトリを生成・削除します。ほとんどは小さなサイズでディスクサイズを圧迫することはありません。ここでは、ファイル・ディレクトリの生成トリガーをご説明します。

➤ アカウント追加・削除時

新規にアカウントを作成すると、ユーザーディレクトリ(デフォルトでは `./usr`)内に、アカウント名と同名のディレクトリが生成されます。そのディレクトリ内に各種設定ファイルが新規に作成されます。

◇ `address.cgi`

ユーザーが登録するアドレス帳情報が格納されます。新規にアカウントを作成した時には、0 バイトのファイルで、何も登録されておりません。

◇ `config.cgi`

ユーザー設定情報が格納されたファイルです。アクセスキーやメールアカウント情報、メール一覧表示設定情報、メール本文表示設定情報が格納されます。数百バイト程度の小さなファイルです。

◇ `signature.cgi`

ユーザーが登録する署名情報が格納されます。新規にアカウントを作成した時には、0 バイトのファイルで、何も登録されておりません。ただし、アカウントデフォルト設定で、署名欄を定義している場合には、そのデータがそのまま引き継がれて、ファイルが生成されます。

アカウントを削除したときは、該当ユーザーディレクトリが削除されます。

➤ ログオン時

携帯電話から Kmail にログオンすると、セッション管理が開始されます。セッション管理は、セッション管理ファイルを生成することで実現します。セッション管理ファイルは、ディレクトリ `./session` 内に生成されます。約 20 バイト程度の小さなファイルです。このファイルは、ユーザーがログオフした時に削除されます。しかし、ユーザーがログオフせずに終了した場合には、セッション管理ファイルが残ります。管理者メニューのシステム設定で、「セッ

コンファイルのお掃除の時間」を定義しておりますが、最後のアクセスよりこの時間を経過したのものについては、誰かがログオンした際に自動的に削除されます。

./session ディレクトリ内はこれら一時的なファイルのみを作成・削除する場所です。もし CGI 側で削除できず残ってしまう場合には、定期的に削除していただいてもかまいません。

➤ 添付画像閲覧時

Kmail CGI は、画像添付のメールが届いた場合には、その画像を閲覧することができます。ImageMagick および Perl::Magick がインストールされたサーバでは、各携帯電話でも閲覧できるよう画像フォーマットを JPEG に変換し、かつ、携帯電話の表示サイズにあわせて画像サイズを縮小します。その際に、一時的な作業ファイルを ./session ディレクトリ内に生成し、変換処理が完了し携帯電話へ出力した時点で削除されます。もし利用者が多数おり、添付された画像を多く見ることが想定される場合には、それなりの領域確保をしておく必要がありますが、変換時だけに生成され削除されてしまうため、数メガバイト程度の空き容量があれば問題なく運用できると思われれます。

4-2 管理者パスワード

管理者パスワードの情報は、暗号化した上で、./conf/sysconf.cgi に登録されております。もし管理者パスワードを忘れてしまった場合には、sysconf.cgi に記述されてるパスワード情報を削除することで、初期化することができます。sysconf.cgi をサーバから ASCII モードでダウンロードしてテキストエディタで開いてください。

```
ADMIN_PASS      EqFkirGT4AiV
設定名          タブ      設定値(暗号化パスワード情報)
```

と記述された部分がありますが、これが管理者パスワードを定義している部分です。設定名と設定値は一つのタブで区切られております。右側の設定値を削除して下さい。ただし、区切りのタブは削除しないようご注意ください。削除したら、再度 ASCII モードで sysconf.cgi をサーバへアップロードして下さい。そして、ブラウザで admin.cgi にアクセスして下さい。すると、初めて Kmail CGI を設置した時と同様に管理者パスワード設定画面が表示されますので、そこで新しい管理者パスワードを設定して下さい。

4-3 端末解像度／表示文字数定義

Kmail CGI は、アクセスしてきた携帯電話の解像度と表示可能文字数を自動的に認識しますが、それは、端末解像度／表示文字数定義ファイル ./conf/char.cgi を参照しております。

もしこの定義を変更する場合は、`char.cgi` を修正することで実現可能です。`char.cgi` のフォーマットは次の通りです。

P504iS	22	132x144
機種名	タブ 表示文字数	タブ 解像度

➤ 機種名

環境変数 `HTTP_USER_AGENT` に含まれる機種名です。まったく同じにしないと動作しませんので、ご注意ください。

➤ 表示文字数

1行に表示できる文字数を定義します。半角文字数ですので、ご注意ください。NTT DoCoMo の下記端末情報掲載ページでは、全角文字数が掲載されていますので、ご注意ください。

➤ 解像度

携帯電話の画面解像度を定義します。横と縦の解像度を半角の `x` で区切ります。

以上の情報は、新機種が発売される都度、追加していく必要があります。これらの情報は、各キャリアのホームページにて公開されておりますので、ご紹介します。尚、下記アドレスは、2006年1月30日時点の情報ですので、ご了承下さい。

➤ NTT DoCoMo

http://www.nttdocomo.co.jp/p_s/imode/spec/ryouiki.html

➤ KDDI (au)

http://www.au.kddi.com/ezfactory/tec/spec/new_win/ezkishu.html

➤ Vodafone

http://developers.vodafone.jp/dp/tech_svc/info/

尚、au 端末については定義されておられません。au 端末は環境変数内に表示文字数や解像度の情報が含まれており、その値を適用しております。従って、`char.cgi` に定義する必要はありません。